

平成 26 年 5 月日本専門医機構が発足した。これまでの専門医制度や類似の各種認定制度が各学会で運営され、国民にも理解される共通の基準に基づく制度でなかったことなど様々な問題が指摘されてきた。我々自身すでに多くの専門医や認定医を取得、更新しているがそのための経済的負担は決して軽微ではない。各種学会や講習会へ参加するために費やしている時間についてもう一度冷静に見直すいい機会である。私自身「こんなに専門医や認定医を数多く取得して何の意味があるのか？」と更新のたびに疑問に感ずることがある。それでも多少学会に参加して、お金さえ払えば更新できてしまうものも多く、「ついつい」「とりあえず」更新してしまう。これが多くの学会、専門医制度が乱立している原因であろう。

今般発足した日本専門医機構により基本領域とこれに関連する Subspecialty 領域の専門医制度が整備されることになる。現在、日本内視鏡外科学会が運営している技術認定制度は、現時点では具体的な議論が進んでいないが、将来的にこれら機構による未承認部分についても検討が進む予定である。内視鏡外科手術を専ら行っている医師にとって、技術認定医資格は、是非とも取得・更新したい極めて重要な資格である。こうした高度の技術、専門性を定量的に評価していく手段として National Clinical Database (NCD) のデータ活用が期待されている。JSES 技術認定医の関与により、ある一定の術式の手術成績における医療安全のみならず合併症軽減による医療経済上のメリットがあることが証明できれば、技術認定医の関与する手術に対するインセンティブをつける根拠ともなろう。現在でも、若手外科医は、「少しでも自らの技術を磨きたい」「向上した技術を第三者に認めてもらいたい」という純粋な向上心から、日々努力精進し、技術認定試験に挑戦しているのであるから、インセンティブなどはいらないという議論もあろう。しかし、内視鏡外科の分野を目指す若手医師が、多大なるエネルギーを注いで修練を行った結果が医療の中で正当に評価される制度を構築することは極めて重要である。プロスポーツの世界でもしっかりとしたインセンティブが確立した競技には多くの優秀な「競技人口」が集結し、結果としてその競技の国際競争力が向上してゆく。もちろん医療をスポーツと同じように論ずることはできないが、厳しい修練を積んで高い技術を習得しようとする志の高い若者を社会が正当に評価することで、その分野のレベルが底上げされ、結果的に国民が高いレベルの医療を享受することになる。社会の高齢化、医療費の拡大がさらに深刻化するなかで、「高い技術をどう評価するか」は大変難しい問題であるが、日本の医療の質を担保し、優秀な人材がやり甲斐を感じて医学・医療の道を目指す社会を築くためには、今回の専門医制度改革は大きな鍵になると考えられる。

(北川雄光)

日本内視鏡外科学会雑誌

(第 19 巻 第 4 号) 2014 年 7 月 15 日発行・隔月刊

Journal of Japan Society for Endoscopic Surgery (Tokyo)

(1 部) 定価：本体 2,800 円＋税 * 会員には毎号送付されます。

2014 年 年間購読料：冊子版 17,650 円、電子版/個人 17,650 円、電子版/共有 20,300 円、冊子＋電子版/個人 20,650 円、冊子＋電子版/共有 23,300 円 (税込) (配送料：医学書院負担) * 会員には冊子版が毎号送付され、学会ホームページから電子版が閲覧できます。

編集・発行：日本内視鏡外科学会 (代表：北野正剛)

〒100-0013 東京都千代田区霞が関 1-4-2 大同生命霞が関ビル 18 階

日本コンベンションサービスク株式会社内

☎ 03-3503-5917 Fax 03-3508-1302 E-mail : jses @ convention.co.jp (担当：野上)

<http://www.jses.or.jp>

Published by Japan Society for Endoscopic Surgery, 18 F-1-4-2 Kasumigaseki, Chiyodaku

Tokyo, 100-0013, Japan ©2014, Printed in Japan

発売：(株)医学書院 (代表：金原 優) (本誌担当：水野、安部) <http://www.igaku-shoin.co.jp/>

<http://www.igaku-shoin.co.jp/mag/jses/>

〒113-8719 東京都文京区本郷 1-28-23 (振替口座 00170-9-96693 番)

本誌編集室直通 ☎ 03-3817-5707 (Fax 03-3815-7802 / E-mail : jses @ igaku-shoin.co.jp)

販売部直通 ☎ 03-3817-5659 (Fax 03-3815-7804)

印刷所 横山印刷(株) ☎ 03-3622-6161 (Fax 03-3625-1591)

広告申込所 (株)文京メディカル ☎ 03-3817-8036 (Fax 03-3817-8044)

本誌の内容を無断で複写・複製・転載すると、著作権・出版権の侵害となることがありますのでご注意ください。

内視鏡外科手術に関するアンケート調査
—第 12 回集計結果報告—

●症例報告

腹腔鏡下手術で治療しえた 3 か所の稀少部位に発生した

子宮内膜症の 1 例 竹林克士・他 滋賀医科大学外科学講座消化器乳腺一般外科
腹腔鏡下胆嚢摘出術施行時に発生した心嚢気腫の 1 例 田中聡也・他 佐賀県医療センター好生館消化器外科
重症急性膵炎を発症した若年者膵・胆管合流異常に対し腹腔鏡補助下分流手術
を施行した 1 例 中谷充宏・他 奈良県立奈良病院外科

●私の工夫

内視鏡下手術におけるセプラフィルム®やタコシール®の新たな搬入方法の

考案 中山 毅 静岡厚生病院産婦人科
腹腔鏡下肝切除術におけるネラトン付き ENDO MINI-RETRACT®を使用
した脈管処理法 川野陽一・他 日本医科大学消化器外科

但し誌面の都合により変更がございます。ご諒承ください。